

事務事業評価シート

事務事業コード	022901	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市民国際交流推進事業(市民国際交流)		所属名	企画推進部 文化交流課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	市民国際交流推進事業実施要 綱
	施策	3204	世界に開かれたまちづくり			
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数		87回	100回	運営方法	補助金交付
	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		9,846人	10,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市民国際交流推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-07

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民団体の相互交流
意図 (どのような状態 にするために)	本市の国際姉妹・交流都市などこれまで交流してきた国や地域との交流を進め、国際理解を深める
手段 (どうするのか)	市民団体が実施する本市の国際姉妹・交流都市などとの市民相互交流事業に対して支援する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①本市の姉妹・交流都市などの市民相互交流事業に対し補助金を交付	平成29年度 ①本市の姉妹・交流都市などの市民相互交流事業に対し補助金を交付	平成30年度 ①本市の姉妹・交流都市などの市民相互交流事業に対し補助金を交付	平成31年度 ①本市の姉妹・交流都市などの市民相互交流事業に対し補助金を交付	平成32年度 ①本市の姉妹・交流都市などの市民相互交流事業に対し補助金を交付	
	年度別実績	①補助金交付 補助金交付団体数:4					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	994	0	0	0	0	
	直接経費 A	994	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	149	0	0	0	0
一般財源	845	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	市民国際交流推進事業活用団体数	単位	団体	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績			2	2	2	0	0			
		(指標の説明)	市民国際交流推進事業補助金を活用して民間交流を実施した団体数									
	2	目標	0	0	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【10次総の施策体系】 3204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P169（企008）</p> <p>【事業の概要】 国際姉妹都市及び交流都市等との交流事業を行う市民団体に対し、交流事業に係る経費について補助金を交付する。 補助金名 市民国際交流推進事業 補助率 2分の1（上限45万円）</p> <p>【事業の成果】 市民が主体となって実施する本市の国際姉妹都市及び交流都市との交流事業に対して補助金を交付し、幅広い草の根交流の裾野を広げ交流の推進を図った。 平成26年度 1件 平成27年度 2件 平成28年度 4件</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も本市の国際交流姉妹都市及び交流都市との交流を推進するため市民が主体となって実施する相互交流事業を支援する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	市民国際交流推進事業活用団体数	200%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>継続的に都市間交流を展開する上で民間レベルでの活動を広げ、市民の熟度を高めていくことが不可欠であり、市民団体主体の活動を支援していく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	022902	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市民国際交流推進事業(日中韓高校生国際交流)		所属名	青谷町総合支所 青谷町総合支所地域振興課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	全期	
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	3204	世界に開かれたまちづくり			
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数		87回	100回	事業分類区分	ソフト(任意)
	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		9,846人	10,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	日中韓高校生国際交流事業		予算事業コード	01-02-01-07-11-16	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中国太倉市、韓国居昌郡の高校生と随行者
意図 (どのような状態 にするために)	市と県立青谷高校とが共催して、日本・中国・韓国の高校生による国際シンポジウムを開催、参加する中国・韓国の高校生を招致し、地域と一体となった国際交流を進める。
手段 (どうするのか)	主として招致部分の事業を行い、県立青谷高校をサポートする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①中韓高校生受入 韓国5名 中国5名	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①①中韓高校生受入 実績:韓国5名(その他14名)、中国5名	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>	<<平成28年度で事業完了>>
区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	575	0	0	0	0
	直接経費 A	575	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	575	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	中国5名、韓国5名参加	人	目標	10
	(指標の説明)		実績	10	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 地域振興課 0857-85-0011
	【10次総の施策体系】 3202
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P（支所034）
	【事業の概要】 青谷地域の国際化推進と青谷高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成を図るため、9月中旬、青谷高校を会場に開催。交流都市として友好を深めている中国太倉市から明德高等学校の生徒等と、1996年の交流協議を経て過去19年にわたり交流を続けている韓国居昌郡の居昌中央高等学校から生徒等を招致し、地域資源を活かし、地域とのふれあい・体験の場を提供して、地域住民とも関わりながら友好交流を深めた。 なお、今年度は、青谷高校の方針により、これまで開催してきた日中韓国国際シンポジウムを変更し、授業交流を中心とした国際交流とした。
	【事業の成果】 平成26年度 決算額 409千円 9月25日実施、23日～26日受入 韓国5名（その他16名） 平成27年度 決算額 692千円 10月29日実施、27日～30日受入 韓国5名（その他16名）中国4名 平成28年度 決算額 578千円 9月13日～16日受入 韓国5名（その他14名）中国5名
【今後の課題・方向性】 平成29年度は、青谷高校の方針により、青谷高校と韓国居昌中央高等学校との相互訪問等による学校間交流(青谷高校の予算)にする計画のため、中国太倉市との交流は実施しない。高校との協議により、平成29年度は高校側の予算で実施することとし、市の予算要求はしない。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	中国5名、韓国5名参加	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input checked="" type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成29年度は、青谷高校の方針により、中国太倉市との交流は実施せず、青谷高校と韓国居昌中央高等学校と学校間交流(青谷高校の予算)とする計画となった。したがって、市がこの事業を主催することはなくなったが、青谷地域の地域資源である青谷高校の活性化のために引き続き協力していく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	023000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	環日本海拠点都市会議参加事業		所属名	企画推進部 文化交流課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3204	世界に開かれたまちづくり			
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数		87回	100回	運営方法	その他
	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		9,846人	10,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	環日本海拠点都市会議参加費			予算事業コード	01-02-01-07-36-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	環日本海諸国の都市との交流
意図 (どのような状態 にするために)	環日本海諸国の都市と連携した経済交流の推進
手段 (どうするのか)	韓国、中国、ロシアの環日本海諸国の都市と連携し、経済交流を一層進める

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①環日本海拠点都市会議及び関連事業への参加	①環日本海拠点都市会議及び関連事業への参加	①環日本海拠点都市会議及び関連事業への参加	①環日本海拠点都市会議及び関連事業への参加	①環日本海拠点都市会議及び関連事業への参加	
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	506	0	0	0	0	
	直接経費 A	506	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	506	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	事業数	単位	回	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	1	0	0	0	0					
		(指標の説明)	会議及び関連事業の参加回数									
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【10次総の施策体系】 3204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P169（企010）</p> <p>【事業の概要】 環日本海地域の発展について地方の支店から話し合う「環日本海拠点都市会議」は、平成6年から開催されており、日本、中国、韓国及びロシアの4か国、12の参加都市の首長が参加して意見交換を行っている。本市は平成21年度から正規会員都市として同会議に参加し、参加各都市との多分野での交流・連携を促進している。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 第20回 中国・図們市 平成27年度 第21回 日本・境港市 平成28年度 第22回 韓国・東海市</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも会議に参加し、中国・韓国・ロシアの主要都市と連携を図りながら経済交流を推進していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	事業数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 今後とも会議に参加し、中国・韓国・ロシアの主要都市と連携を図りながら経済交流を推進していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	023101	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国際交流プラザ運営事業(在住外国人支援事業)		所属名	文化交流課 国際交流プラザ

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成9年度～全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3204	世界に開かれたまちづくり			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数		87回	100回	運営方法	直営
	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		9,846人	10,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	在住外国人支援事業			予算事業コード	01-02-01-07-12-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に在住する外国人
意図 (どのような状態 にするために)	在住外国人が安心して生活しやすい環境づくりを行う
手段 (どうするのか)	日本語習得のための支援と複数言語での生活相談対応 パンフレットの作成・配布により事業への参加呼掛け、施設の利用促進

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①にほんごカフェ (年10回) ②日本語ボランティア の集い(年1回) ③日本語ボランティア 活動者(40名) ④パンフレットの作成 (200部)	①にほんごカフェ (年12回) ②日本語ボランティア の集い(年1回) ③日本語ボランティア 活動者(42名) ④パンフレットの作成 (300部)	①にほんごカフェ (年12回) ②日本語ボランティア の集い(年1回) ③日本語ボランティア 活動者(44名) ④パンフレットの作成 (300部)	①にほんごカフェ (年12回) ②日本語ボランティア の集い(年1回) ③日本語ボランティア 活動者(46名) ④パンフレットの作成 (300部)	①にほんごカフェ (年12回) ②日本語ボランティア の集い(年1回) ③日本語ボランティア 活動者(48名) ④パンフレットの作成 (300部)	
	年度別実績	①にほんごカフェ (年4回 21名) ②日本語ボランティア の集い(年1回 31名) ③日本語ボランティア 活動者(38名) ④パンフレットの作成 (300部)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	70	0	0	0	0	
	直接経費 A	70	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	70	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	にほんごカフェ	回	目標	10	12	12	12	12	
				実績	4	0	0	0	0	
	(指標の説明) 在住外国人と日本人(ボランティアさん、地域住民など)が楽しく話し合う集いを、毎月第2土曜日に開催する									
	2	日本語指導ボランティア活動者	人	目標	40	42	44	46	48	
				実績	38	0	0	0	0	
	(指標の説明) 在住外国人へ日本語をボランティアで指導していただく活動者									
3	パンフレットの作成	枚	目標	200	300	300	300	300		
			実績	300	0	0	0	0		
(指標の説明) パンフレット作成・配布により事業への参加呼掛け、施設の利用促進										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253</p> <p>【10次総の施策体系】3204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 在住外国人が安心して生活できるように 1 各種の相談や支援を行う 2 にほんごカフェの実施 3 日本語指導ボランティアさんへの活動支援 4 国際交流プラザの紹介パンフレットを作成し、事業への参加呼びかけと施設の利用促進を図る</p> <p>【事業の成果】 1 相談・支援件数、延べ42件 2 にほんごカフェを年4回開催、21名の参加 3 日本語ボランティアの集いを年1回開催、31名の参加 4 パンフレットを300部作成し、在住外国人、関係団体等へ配布</p> <p>【今後の課題・方向性】 在住外国人が安心・安全な生活を送ることができるよう、引き続き、日本語の習得支援や地域住民との交流などの推進を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	にほんごカフェ	40%				
	2	日本語指導ボランティア活動者	95%	95%			
	3	パンフレットの作成	150%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	在住外国人と日本人が語り合う「にほんごカフェ」において、計画回数が下回った。開催日時を決定していたことから、「待ち」の姿勢であったことは否めず、十分な周知やクチコミなどが欠けていた思う。次年度に生かしていきたい。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

在住外国人が安全・安心な生活を送るための環境づくりの支援は、外国人の多様化に伴い、生活相談や日本語習得支援、地域住民との協働等がさらに必要となってくる。支援を実施することは、市民生活の安全・安心にも繋がるため、継続して実施することが必要と考える。事業の一つである「にほんごカフェ」については、周知、クチコミなどが不足していると考えられるため、改善しながら継続されたい。

事務事業評価シート

事務事業コード	023102	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国際交流プラザ運営事業(市民国際理解推進事業)		所属名	文化交流課 国際交流プラザ

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成9年度～全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3204	世界に開かれたまちづくり			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数		87回	100回	運営方法	直営
	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		9,846人	10,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市民国際理解推進事業			予算事業コード	01-02-01-07-12-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に在住する外国人と日本人
意図 (どのような状態 にするために)	異文化・国際理解、国際交流を促進する
手段 (どうするのか)	外国語講座、世界の料理教室、講演会等の開催

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①国際クッキング教室 (年3回) ②世界を旅する講座 (年3回) ③語学講座 (年4講座) ④多文化交流フェスタ (年1回)	①国際クッキング教室 (年4回) ②世界を旅する講座 (年3回) ③語学講座 (年4講座) ④多文化交流フェスタ (年1回)	①国際クッキング教室 (年3回) ②世界を旅する講座 (年4回) ③語学講座 (年4講座) ④多文化交流フェスタ (年1回)	①国際クッキング教室 (年4回) ②世界を旅する講座 (年3回) ③語学講座 (年4講座) ④多文化交流フェスタ (年1回)	①国際クッキング教室 (年3回) ②世界を旅する講座 (年4回) ③語学講座 (年4講座) ④多文化交流フェスタ (年1回)	
	年度別実績	①国際クッキング教室 (年3回 31名) ②世界を旅する講座 (年4回 87名) ③語学講座 (年4講座29回 73名) ④多文化交流フェスタ (年1回 400名)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	201	0	0	0	0	
	直接経費 A	201	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	201	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	国際クッキング教室	人	目標	30	40	30	40	30	
		実績		31	0	0	0	0		
	(指標の説明) クッキング教室の参加者数									
	2	国際理解推進講座(世界の旅、語学)	人	目標	150	150	180	150	180	
		実績		160	0	0	0	0		
	(指標の説明) 講座の参加者数									
3	交流イベント(多文化交流フェスタ)	人	目標	300	300	300	300	300		
	実績		400	0	0	0	0			
(指標の説明) 交流イベントの参加者数										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253</p> <p>【10次総の施策体系】3204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 異文化・国際理解を深め国際交流を促進するため</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際クッキング教室の開催 2 世界を知る講座の開催 3 外国語講座の開催 4 交流イベントの開催 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際クッキング教室を年3回開催、31名の参加 2 世界を旅する講座を年4回開催、87名の参加 3 語学講座を年4講座29回開催、73名の参加 4 多文化交流フェスタを年1回開催、400名の参加 <p>【今後の課題・方向性】 国際化の進展に伴い、国際意識向上の必要性は高まっている。継続して交流促進、異文化・国際理解の推進を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	国際クッキング教室	103%				
	2	国際理解推進講座(世界の旅、語学)	107%	107%			
	3	交流イベント(多文化交流フェスタ)	133%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>国際化が進む中で、住民の国際意識の向上、理解推進のための異文化交流は欠かせないものとなっている。今後はさらに広報啓発を充実させ、住民の関心を高め参加を促進するよう努める必要がある。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	023200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	国外情報発信事業		所属名	企画推進部 文化交流課	

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	02	交流の拠点となるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3204	世界に開かれたまちづくり			
施策の 目標の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数		87回	100回	運営方法	直営
	国際観光客サポートセンター案内件数(年間)		9,846人	10,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	国際交流員配置事業費			予算事業コード	01-02-01-07-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	国際姉妹都市との交流 市民の国際理解
意図 (どのような状態 にするために)	国際姉妹都市などとの交流を推進する 市民の国際理解を推進する
手段 (どうするのか)	国際交流員を配置し、国際交流業務の円滑な推進をはかる。地域での国際理解講座に国際交流員を派遣し、国際理解を推進する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①ドイツ、中国、韓国 の国際交流員を各1人 ずつ配置 ②地域での語学講座等 への交流員派遣	①ドイツ、中国、韓国 の国際交流員を各1人 ずつ配置 ②地域での語学講座等 への交流員派遣	①ドイツ、中国、韓国 の国際交流員を各1人 ずつ配置 ②地域での語学講座等 への交流員派遣	①ドイツ、中国、韓国 の国際交流員を各1人 ずつ配置 ②地域での語学講座等 への交流員派遣	①ドイツ、中国、韓国 の国際交流員を各1人 ずつ配置 ②地域での語学講座等 への交流員派遣	
	年度別実績	①国際交流員の配置 ・ドイツ・英語圏 1名 ・中国 1名 ・韓国 1名 ②国際交流員の外部派遣 実績:87回(参加者数 1,285人)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,181	0	0	0	0	
	直接経費 A	10,181	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,181	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	国際交流員派遣事業への参加者数	人	目標	2000	2000	2000	2000	2000	
		実績		1285	0	0	0	0		
	(指標の説明) 国際交流員派遣事業に参加した市民の延べ人数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-313154</p> <p>【10次総の施策体系】 3204</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 JETプログラムによるドイツ・英語圏担当の国際交流員を1人配置 韓国及び中国担当の国際交流員については、地域人材を各1人配置</p> <p>【事業の成果】 国際交流員の配置により、通訳や翻訳等、国際姉妹都市などの交流業務を円滑に推進することができる。また、地域での国際理解講座、語学講座などに国際交流員を派遣することにより、市民の国際理解を推進することができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 姉妹都市をはじめとする幅広い国際交流の推進、市民の国際理解の醸成、多文化共生社会の推進のため、今後も継続して国際交流員の配置は必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	国際交流員派遣事業への参加者数	64%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	少人数の講座が多かったため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	評価内容		
	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>姉妹都市をはじめとする幅広い国際交流の推進、市民の国際理解の醸成、多文化共生社会の推進のため、今後も国際交流員を配置し、交流事業を実施する。</p>		